

汝と我の

(昭和五十六年寮歌)

山根誠君 作歌

長谷部健君 作曲

一

よすがなき姿も見せぬ郭公を
捜せしは誰ぞ汝と我の瞳なり
草いきれ燃えたつ野にて戯れぬ
獣らは誰ぞ汝と私の姿なり
原始林と古屋を覆いたる
邪なもののめぐる世に
正義の想い何処にか汝と私の胸にあり

二

轟ける荒磯の波のただ中を
漕ぎゆくは誰ぞ汝と私の腕なり
アカシアの狭霧漂う道辻を
疾けゆくは誰ぞ汝と私の足なり
移ろい巡る天地を
己が父とし母として

のびゆく命何処にか汝と私の胸にあり

三

降りつもる雪に太古の巨象を
描きしは誰ぞ汝と私の感傷なり
夜もすがら思い乱れる若人を
見つめしは誰ぞ汝と私の恵迪なり
天宙駆ける参星の
幽けき光仰ぎ見て
語りしことば何処にか汝と私の胸にあり